



post card

利き腕と言葉を失った男が
猫に羽が生えた絵を描きはじめました。

失語症のじょんは、何のために描いているのか?作品と、どうやって向き合っているのかを自分の言葉でうまく表現できません。失語症のじょんが作品を作ることで、それを見た人から、じょんの中にある言葉を引き出してもらおう。それが、失語症者の社会参加につながり、まだまだ認知の低い失語症、高次脳機能障害など見えにくい障害への理解や関心に繋がることを目指します。

2022年 3月22日 脳内出血で倒れ右半身麻痺、
右同名半盲、失語症など後遺症をもつ
2025年 4月18日 猫に羽の生えた絵を描き始める
2025年10月 NY公募展2025秋冬 準優秀賞受賞
2026年 1月 ニューヨークGallery Maxにて
Stepping Into a world VI出展



NYANGELS™

2026年 1月27日(火)~2月1日(日)

会場：旧上田家住宅 京都府向日市鶏冠井町東井戸64-2
開館時間：9時30分~16時30分 TEL：075-874-1023